



高校生スキルアッププログラムを活用してあおもり県民カレッジによる認定証(100単位)を取得したチャレンジャーに、インタビューをしました。

青森中央高等学校 3年 ^{たきや そらみ} 滝谷空海さん(令和3年度当時)

※「高校生スキルアッププログラム」の単位は「青森県民カレッジ」の単位としても活用できます。滝谷さんは「高校生スキルアッププログラム」を活用して単位を取得し続け、青森県知事より「あおもり県民カレッジ」100単位認定証を授与されました。



— 100単位をとろうと思ったのはなぜですか？

運動部活動に所属していたのですが、怪我が原因で退部してから放課後の時間の使い方を考えるようになりました。

スキルアップのことは知らなかったのですが、進路に役立つと思い、興味ある講座に参加していたら、担任の先生がスキルアップの仕組みを教えてくれて、はじめることにしました。活動に参加するうちに人の話を聴き、人と関わる楽しさに気づき、講座やワークショップに積極的に参加するようになりました。

認定証を取得した時、既に58単位あったので「もしかして100単位、行けるかな？」と思うようになりました。

— 100単位をとったときは、どう思いましたか？

いろいろな経験を通して、100単位取得することができて嬉しかったです。また、開講して下さっている方々や講話をして下さる講師の先生、携わって頂いたすべての皆様に感謝したいと思いました。

— どうやったら続けられますか？モチベーションは何でしたか？

活動するといろいろ学べる、いろんな人に会えるという楽しみから自然に足が向き、続けたいと思うようになりました。最初は部活動感覚で定期的に参加したり、予約等をしたりして、行かなければならない状況をあえて作る工夫をして、活動しました。結果的に、多くの方々の話を聞く事が、自分の将来に役立つという考え方になり、更に継続するモチベーションに繋がったと思います。

— 参加するボランティアや講座はどうやって見つけていますか？

学校からの案内や大学のホームページなどから見つけていました。

— この活動を通して自分自身にどんな変化があったと思いますか？

大きく変わったと思うことは2つあります。1つ目は人の話を聞き入れることができるようになったことです。そのことで講座を受講する前より視野が広がったと思います。2つ目はコミュニケーション能力が上がったことです。講座の休み時間や受講後にいろいろな世代の方とお話できるようになったと思います。卒業後、会社や地域コミュニティでも活用できる力が身に付きました。



「大学に入ったら、やってみたいことがたくさんあるんです！」と滝谷さん

— この活動を通して身に付いたことは何ですか？

今までは、知らない人のいる所や知らない場所に一人で行くことを恐れる傾向が自分にはありましたが、今は積極的に参加しようとする主体性や行動力が身に付いたと感じています。

— 交付された認定証は何かに活用しましたか？

はい。「高校生スキルアッププログラム」に参加したことと、「スキルアップ認定証」を交付されたことを大学の総合型選抜の入試の際に書類に記載しました。また、試験でも活用できたと思います。面接の際、話すことに抵抗がないので緊張せずに面接官に思いを伝えることができました。また、小論文は普段レポートを書く際に文章構成や段落を意識して書いていたので、思うように書けたと思います。おかげで希望する国公立大学に合格できました。100単位の認定は受験に間に合わなかったので、活用する機会がありませんでした。

— 今後も活動を続けていきますか？ どんな活動がしたいですか？

これからも見聞を広げるために続けていきたいと思います。また活動していくうちに、地域貢献活動に対する想いが強くなりました。これまで講座をメインに活動をしてきたので、今後はボランティア活動にも携わっていきたいと思っています。

— 自分を客観的に見て、どんな高校生だと思いますか？

とても充実した高校生活を送っている高校生だと思います。

— 将来の目標は？

3つあります。1つ目は、幼い頃から憧れている警察官になることです。2つ目は、社会教育を通じて子供たちにも自分が味わった学校外での活動の楽しさを教えてみたいということです。3つ目は、ねぶたに関する活動を積極的に行いたいということです。すべての夢を同時に叶えていくことは難しいですが、目標に向かって進学先で頑張りたいと思います。